

令和元年 第54回
庭木・園芸部例会（ご報告）
今回のテーマ「迎春を飾る寄せ植え」

去る12月14日（土）、名城公園フラワープラザ（名古屋市）で第54回例会を開催しました。素晴らしい青空にも恵まれ、17名で寄せ植えづくりに挑戦しました。

講師は、今年も大島紀子先生にお願いし、趣向を凝らした味わいのある材料を準備いただきました。材料は「プリムジュリアン（サクラソウ科）」「ビオラ（スミレ科）」「葉牡丹（アブラナ科）」「カルーナ（ツツジ科）」の4種類の花と、

鉢、培養土、苔、白小石、ミニ門松、招き猫等で、それぞれの特性や特徴をわかり易く解説を受けました。ビオラは、バニーイヤーズ（ウサギの耳）とも呼ばれる珍しいものでした。

各自が、さっそく寄せ植えの基本を頭に描きながら、配置を工夫し、個性的な寄せ植えになるよう知恵を絞り、あっという間の完成でした。その後、講師からもコメントをいただき、肥料や水やり等のポイントについても話がありました。会員相互も作品を見比べて寸



評を交わし、満足感が漂っていました。迎春を飾る鉢は、家族に自慢できるものとなりました。

午後からは、塚本忠夫先生から、「今行う庭木の手入れ」の話聞き、先生の相変わらない厚い情熱に接しました。そして、「柿の木剪定」「槇の木の透かし剪定」「お礼肥」等の質疑を交わし、連絡会、公園の散策をもって例会を閉じました。

竹橋 義明



